

リハビリ通信

今回のテーマは…

《熱中症、脱水症について》

- ・熱中症とは、暑い環境で起こる体調不良のことです。体調不良の症状は、脱水症と異常高体温によって起こります。脱水症になると、熱を逃がす働きが弱くなり体温が下げられなくなり、様々な機能障害が起きてしまいます。
- ・福岡市では、去年2025年の熱中症による救急搬送者は917人にもなり、その内高齢者の占める割合は50%以上です。



※高齢者は屋内での熱中症も多く、日常生活の中での脱水症にも注意が必要です。

・**当施設では**、熱中症、脱水症対策として、室温管理、こまめな水分補給の促し、水分摂取量の記録、コントロールを徹底しております。また、飲み込みに障害のある入居者様に対し、**言語聴覚士、看護師**を中心として水分に付加するトロミ剤の調整をしっかりと行い、誤嚥を起こさずに安全に飲水できるように注力しております！

リハビリのぞいてみた！

言語聴覚士による飲み込む力を鍛える訓練

おでこで前にグッと
押してください。



①

ボールをアゴでしっかり
挟んでください。



②

① おでこを手で押さえることで喉の筋肉に抵抗をかけ、飲み込みに必要な喉の筋力強化（誤嚥、むせ防止）を目的に行う「嚥下おでこ運動」を実施。

② ゴムボールを顎の下に挟んで潰す運動を行うことで飲み込みの力を強化。

※当施設では、言語聴覚士によりデイサービス内での個別機能訓練にて、上の写真のような飲み込みの力を鍛える訓練も積極的に行っております！